

「成田富里いずみ清掃工場」

市では、市民の皆さんに市内の施設や発展状況を紹介し、市政に対する認識と理解を深めてもらおうと、毎年4回、施設見学会を開催しています。「施設見学会紙上ツアー」では、今までに見学した施設から、好評だった見学先にスポットライトを当て、皆さんに紹介します。

*今年最後の施設見学会が、11月12日(火)に開催されます。くわしくは17ページをご覧ください。

見どころを教えてください!

成田富里いずみ清掃工場職員に 聞きました

工場長
(グリーン推進課副参事)

たかなぎ まさのり
高柳 昌典さん



成田富里いずみ清掃工場は、全国でまだ100カ所ほどしか造られていない、ごみを溶かす方式を取り入れた先進的なごみ処理施設です。市民の皆さんに、施設の仕組みを知ってもらおうと、見学コースを用意しています。皆さんの家庭などから出されたごみが、どのような流れで処理されるのか、映像や展示などを見ながら、わたしたちが分かりやすく説明し、施設を案内します。また、ごみをためておく「ごみピット」から、巨大な「ごみクレーン」が約2トンものごみを運び様子などを間近に見ることもできます。皆さん、ぜひ見学しにきてください。



ごみ処理の流れなどを分かりやすく展示(平成25年5月10日の施設見学会)



再資源化を推進する成田富里いずみ清掃工場

老朽化した従来のごみ焼却施設「いずみ清掃工場」に代わる新たな施設として、成田市と富里市の共同事業で「成田富里いずみ清掃工場」が建設されました。平成24年9月に施設が完成し、同年10月から稼働しています。

新しい清掃工場では、ごみを処理したときに発生する排ガスを利用した蒸気で、モーターを回して電気を作るなど、資源循環が可能な最新の設備を備えています。2つある炉を同時に稼働する

と、1日で、最大212トンのごみを処理できます。現在は、1日平均で約162トンのごみを処理し、約3,000キロワット(一般家庭の約7,200世帯分)を発電しています。工場自体で使用する1日平均2,400キロワットの電気を全て賄うことができ、余った電気は、電力会社に売却しています。

皆さんも、最新のごみ処理、ごみの再資源化の工程を見学してみたいでしょうか。

見学したい人は

見学できる日=火~金曜日(祝日、12月29日~1月3日を除く)

見学できる時間=午前9時~午後3時30分

見学料=無料

※くわしくは成田富里いずみ清掃工場(☎36-1689)へ。



住所: 成田市小泉344番地1

編集後記

先日コンビニで秋の恵方巻きの広告が目にとまりました。恵方巻きといえば太巻き寿司。わたしが小学生のころは、運動会や誕生日など特別な時のご馳走でした。千葉の郷土料理としても有名で、作り方の伝承のため講習会も多く開かれています。一方で近年は、節分の恵方巻きとして存在価値が高まっているようです。その食べ方は丸ごと1本にかぶりつきのルールだそうですが、わたしは切り口の模様を見ながら味わいたいですね。

平成25年10月15日号 No.1253

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。